

新年あけまして おめでとうございます



玉村町長

角田 紘二



新年あけましておめでとうございます。平成29年の年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年の東毛広域幹線道路の4車線開通により、関越道高崎玉村スマートインターチェンジの利便性が高まり、交通要所としての玉村町の重要性が益々増してきています。西の玄関口にある「道の駅玉村宿」もたくさんのお客様にご利用いただき、町の情報発信や地域振興の拠点として、今後さらなる飛躍を目指しています。人口減少対策として大きな期待をされている文化センター周辺住宅団地の造成も、平成29年度から第1期分譲地が整備され、新しい住民の方の受け入れが始ま

ります。

世界情勢に目を向ければ、英国のEU離脱や米国のトランプ政権の誕生など、今後日本の政治経済にも重大な影響があることが予想されます。

また、日本国内においては、政府は「誰もが活躍できる一億総活躍社会」を構築することを方針として、地方創生を旗印に少子高齢化などの構造問題に取り組んでいるところです。

玉村町におきましても人口減少と財政の硬直化が続く、今後さらなる社会保障費の増加が見込まれ、厳しい財政運営が求められております。このような状況の中で「第5次総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合計画」「都市計画マスタープラン」に基づき、町政を進め、暮らしやすい町づくりを推進してまいります。

特に子育て支援や高齢者が、住みよいまちづくりを積極的に取り組んでまいります。

いずれにいたしましても、健康で安全な暮らしやすい町を目指して、一つずつ実行に移していく所存でございますので、よろしくご理解とご協力をお願い申し上げます。

玉村町議会議員

高橋 茂樹



新年あけましておめでとうございます。

皆様には希望に満ちた平成29年の新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。新年を迎え玉村町議会を代表し謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、さまざまな出来事がありました。輝かしいニュースとしては一昨年に続き大隅良典氏がノーベル生理学・医学賞を受賞され、また、リオデジャネイロオリンピックでは日本選手が活躍するなど、努力して頑張れば良い成果が得られると感じた年でした。しかし、一方では熊本地震、鳥取地震、そしてまだまだ収まらない東日本大震災の余震、さらには北海道・東北地方を襲った台風による河川の氾濫の様子を見ますと、自然災害の恐ろしさを再認識した年でもありました。玉村町は利根川、烏川と大きな河川の流域であり、過去

には利根川の氾濫もありました。こうした自然災害から住民の生命・財産を守り、安全にそして、安心して生活ができるよう、被害を最小限にとどめるため、今後とも執行と議会は共に協力してまいります。

さて、現在町では雇用を増やすための工業団地の拡張や定住人口の増加を図るための住宅団地の造成、さらには子育てしやすい環境を整えるために全児童館へのエアコン設置を進めるなど、様々な施策に取り組んでおります。こうした取り組みは玉村町の素晴らしい魅力であり、ぜひ多くの町内外の皆さんにも知っていただきたいと考えています。

町議会といたしましても、議会改革の一環として、昨年初めて、町長と教育長に対し3分野6項目にわたる政策提言書を提出いたしました。これまでの各常任委員会の調査・研究結果をもとに、町政の課題を克服するために必要な政策の提言を行ったものであり、今後も継続してまいります。町議会は町政のチェック機関です。皆さんの意見を反映させ開かれた議会を目指してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。